




SHOWA

技術とモノづくりで豊かな未来を

第95期 報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

 昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成29年3月31日をもちまして、第95期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長 福田俊仁

「本業回帰で筋肉質な企業体」「事業の選択と集中」、「差別化

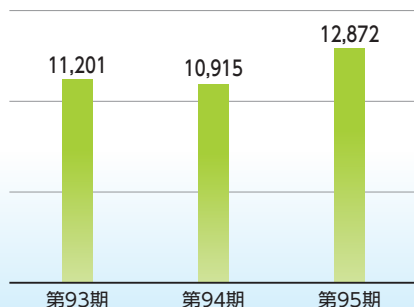
Q 第95期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種経済対策により雇用情勢・所得環境の改善に伴う緩やかな回復基調が続きましたが、一方で英国のEU離脱問題や米国の新大統領就任による政策変更、為替相場の大幅な変動など、依然として先行き不透明感が拭えない状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画において「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する!」を掲げ、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

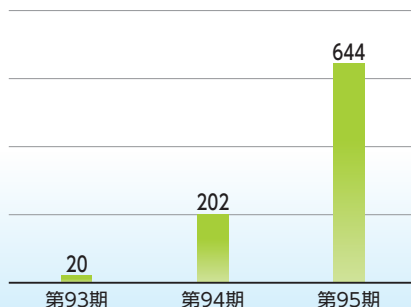
売上高

(単位: 百万円)

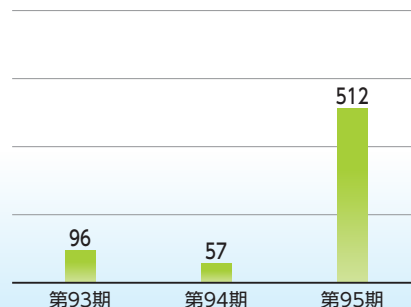


経常利益

(単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



質を実現する！」をさらに追求し、重点課題である 新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」を立ち上げ、4つのタスクフォース(「営業・サービス改革」、「HP製品開発改革」、「生産改革」、「AHU/FCUの省力化」)を中心に改革を推進しております。

Q 第95期の業績についてお聞かせください。

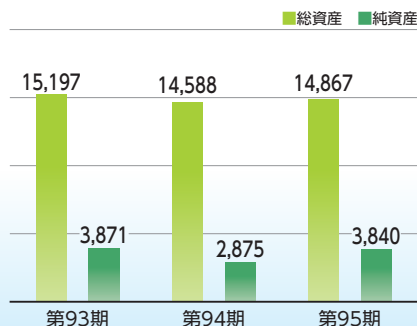
当連結会計年度の当社グループの売上高は128億7千2百万円(前連結会計年度比17.9%増)、受注高につきましては127億8千5百万円(同比0.6%増)となりました。

損益面では、売上高が大きく伸長し、また原価改善に努めたことにより、経常利益は6億4千4百万円(前連結

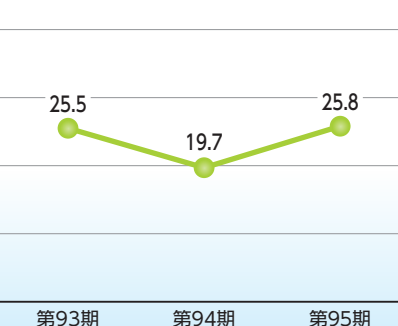
会計年度比218.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億1千2百万円(同比798.7%増)となりました。



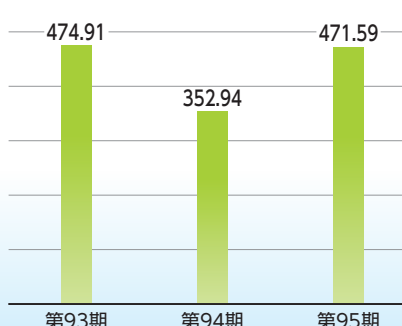
総資産・純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



1株当たり純資産 (単位:円)



Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、営業・サービス体制の連携強化により、業務用エコキュート等の熱源機器やデシカント外気処理機等の空調機器の売上が順調に推移しました。また、サーモデバイス機器は液晶パネルメーカーの設備投資拡大や自動車メーカーの車体軽量化ニーズ拡大に伴い熱処理炉の売上が大きく伸びたことにより好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は86億1千5百万円(前連結会計年度比28.7%増)、受注高は83億4千3百万円(同比2.0%減)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は熊本地震の影響により九州地区の橋梁用防護柵の売上が低迷し、また前年度ほどの大型転売案件がなかったことに

より低調に推移しました。鋳造品は在庫調整の影響によりガスタービン用精密鋳造品の売上が減少しました。

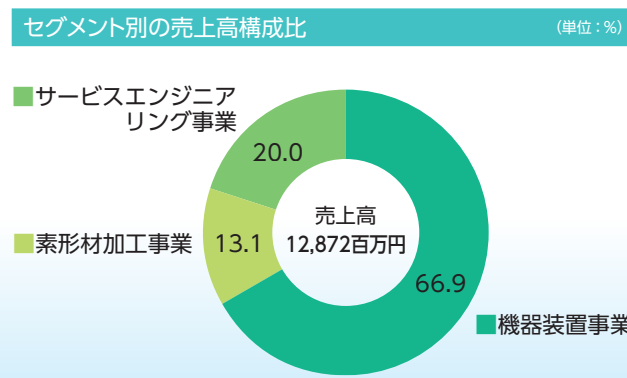
その結果、当事業の売上高は16億8千4百万円(前連結会計年度比13.2%減)、受注高は17億3千1百万円(同比1.0%減)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、ストック市場の開拓や提案強化により、有料サービス及びリニューアル工事ともに順調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は25億7千1百万円(前連結会計年度比12.8%増)、受注高は27億9百万円(同比10.6%増)となりました。

セグメント別の売上高・受注高		(単位：百万円)
	売上高	受注高
■ 機器装置事業	8,615	8,343
■ 素形材加工事業	1,684	1,731
■ サービスエンジニアリング事業	2,571	2,709
合計	12,872	12,785



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は緩やかな回復基調が続く一方で、世界的な保護主義の拡大や欧州諸国の総選挙の影響に加え、近隣国での地政学的リスクの高まりが景気の下振れを懸念させ、当社グループを取り巻く業務用市場も競争の激化や設備投資の緩慢さから、依然不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

平成29年度は、平成31年度を最終年度とする中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する!」をさらに追求し、3年以内に連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上の必達を目指し、引き続き重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

なお、上記の重点課題の解決と目標達成のため、「Project Skye」のもと、営業・サービスの顧客接点力強化の「営業・サービス改革」、ヒートポンプ製品の開発と事業化の「HP製品開発改革」、昭和生産システムの再構築の「生産改革」、エアハンドリングユニットとファンコイルユニットの生産省力化の「AHU/FCUの省力化」の4つのタスクフォースにより一層注力してまいります。

Q 株主還元のお考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第95期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき普通配当5円に特別配当3円を加えた8円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

創業時からの強みである熱の技術に立脚した事業戦略を推進するとともに、これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

都市景観製品

しらさぎ橋(橋長277m)

鹿児島県霧島市

- 橋梁用車両防護柵(鋳鉄製 高耐久塗装)
- 転落防止柵(鋳鉄製 高耐久塗装)

しらさぎ橋は、霧島市内を流れる天降川に架かる新設橋で、周辺道路の渋滞解消を主な目的として平成29年3月に竣工しました。

橋梁の下は河川公園になっており、遠くに桜島を望む環境です。霧島市の委員会による景観検討が行われ、高欄、親柱、舗道面等のデザインに反映されました。



空調・熱源製品

某オフィスビル

- リタンエアデシカント外気処理機

オフィスビルのリニューアルに伴い、空調方式を「全熱交換+ファンコイルユニット」から「デシカント+ビル用マルチ」へ変更しました。



某学校施設

- 業務用エコキュート
- 鋼板製無圧ヒーター「ネオス」
- ユニットエアハン

エコキュートと温水ヒーターを併用するハイブリッドシステムが導入されました。



熊谷天然温泉 花湯スパリゾート

埼玉県熊谷市

- 潜熱回収ヒーター「リコス」
- 高効率型貯湯槽

平成29年4月にオープンした露天風呂や岩盤浴が楽しめる天然温泉施設に熱源製品を納めました。



連結貸借対照表

科目	当期 平成29年3月31日現在	前期 平成28年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,794	9,069
現金及び預金	3,496	3,545
受取手形及び売掛金	3,622	3,080
電子記録債権	228	278
有価証券	—	400
たな卸資産	1,410	1,703
その他	41	64
貸倒引当金	△4	△3
固定資産	6,072	5,518
有形固定資産	2,715	2,531
建物及び構築物	646	589
機械装置及び運搬具	342	268
土地	1,611	1,581
建設仮勘定	0	4
その他	114	86
無形固定資産	60	43
投資その他の資産	3,296	2,943
投資有価証券	2,826	2,415
その他	497	555
貸倒引当金	△26	△26
① 資産合計	14,867	14,588

① 総資産

前期末に比べ2億7千9百万円増加し、148億6千7百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金5億4千1百万円、投資有価証券4億1千1百万円が増加した一方で、有価証券4億円、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)2億9千2百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ6億8千5百万円減少し、110億2千7百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債1億7千1百万円が増加した一方で、短期借入金9億円が減少したものです。

③ 純資産

前期末に比べ9億6千5百万円増加し、38億4千万円となりました。主な要因は、利益剰余金4億7千2百万円、その他有価証券評価差額金4億3千9百万円が増加したものです。

科目	当期 平成29年3月31日現在	前期 平成28年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	7,494	8,299
支払手形及び買掛金	2,691	2,875
短期借入金	3,520	4,420
未払費用	488	448
未払法人税等	121	67
設備関係支払手形	24	41
その他	648	445
固定負債	3,532	3,413
長期借入金	805	850
退職給付に係る負債	2,139	2,175
繰延税金負債	212	41
その他	374	347
② 負債合計	11,027	11,713
(純資産の部)		
株主資本	3,747	3,276
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	1,028	556
自己株式	△147	△147
その他の包括利益累計額	93	△400
その他有価証券評価差額金	575	135
為替換算調整勘定	74	109
退職給付に係る調整累計額	△556	△646
③ 純資産合計	3,840	2,875
負債及び純資産合計	14,867	14,588

連結損益計算書

科目	当期	前期
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
4 売上高	12,872	10,915
売上原価	9,803	8,423
売上総利益	3,068	2,491
販売費及び一般管理費	2,482	2,280
5 営業利益	585	211
営業外収益	145	193
営業外費用	87	202
5 経常利益	644	202
特別利益	—	66
特別損失	—	142
税金等調整前当期純利益	644	126
法人税、住民税及び事業税	131	69
当期純利益	512	57
5 親会社株主に帰属する当期純利益	512	57

4 売上高

平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題に取り組むとともに、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」を立ち上げ、4つのタスクフォースを中心に改革を推進しています。その結果、当期における当社グループの売上高は128億7千2百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

5 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高が大きく伸長し、また原価改善に努めたことにより、営業利益は5億8千5百万円(前年同期比177.5%増)、経常利益は6億4千4百万円(前年同期比218.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億1千2百万円(前年同期比798.7%増)となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は6億2千5百万円(前年同期は3億7千1百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益6億4千4百万円、減価償却費1億6千7百万円及びたな卸資産の減少額2億9千2百万円による増加と、売上債権の増加額4億9千2百万円による減少です。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	625	371
投資活動によるキャッシュ・フロー	341	716
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	△76
現金及び現金同等物の増減額	△38	1,011
現金及び現金同等物の期首残高	3,452	2,440
現金及び現金同等物の期末残高	3,413	3,452

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	316名(連結370名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌(石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県糟屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

役員

(平成29年6月28日現在)

取締役・監査役

代表取締役	福田 俊仁
取締役	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳
取締役	日野 宏昭
取締役	永利 新一
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	山根 讓治
監査役	吉田 泰彦
監査役	村上 英之

執行役員

社長CEO	福田 俊仁
常務執行役員	鍋山 敏郎
常務執行役員	倉岡 淳
上級執行役員	日野 宏昭
上級執行役員	一木 和弘
上級執行役員	鈴木 善廣
執行役員	平田 清
執行役員	井上 敏

株式の状況

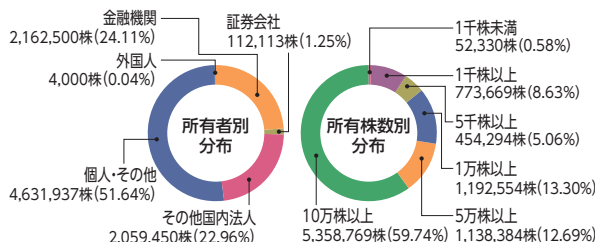
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	862名

大株主

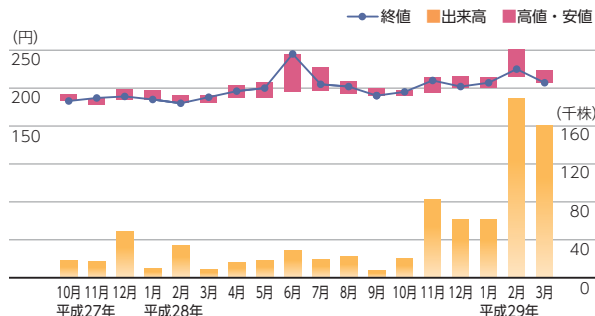
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	386,500	4.74
株式会社西日本シティ銀行	385,000	4.72
株式会社北九州銀行	357,500	4.38
西部瓦斯株式会社	345,000	4.23
西日本鉄道株式会社	291,000	3.57
飯田卓子	277,114	3.40
飯田久泰	267,000	3.27
稲田好美	198,135	2.43
日本乾溜工業株式会社	197,000	2.41
飯田吉宣	194,500	2.38

(注)持株比率は、自己株式(825,574株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主総会の招集地	福岡市
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.showa.co.jp/>


●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

●IR情報トップ画面



 昭和鉄工株式会社

〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)

UD
FONT



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。